

## ボランティア事業

「世界もあなたも、可能性に満ちている」  
—市民が主役の国際協力—

JICAのボランティア事業は、開発途上国の経済・社会の発展や復興のため、高い志を持って自発的に協力しようとする市民の活動を支援するものです。1965年にスタートした青年海外協力隊の派遣を中心とするこの歴史ある事業は、日本政府・JICAが行う草の根レベルの国際協力の代表的な事業として広く認知され、相手国から高く評価されています。これまで累計約5万5,000人が顔の見える国際貢献の担い手として活動しました(2022年3月末現在)。

員は待機期間中にオンラインでの支援活動や能力強化などを行い、それらを生かして現地での活動に従事しています。

派遣前訓練については、参加人数を抑制し、オンライン研修も併用するなど十分な感染症対策を講じて、2021年4月に1年ぶりに集合型の訓練を再開しました。

### 社会還元支援を拡充： 奨学金事業などがスタート

また、2021年度には、JICA海外協力隊経験者の社会還元の支援策として、帰国隊員奨学金事業を開始したほか、協力隊合格者のうち希望者を対象に地方自治体などが実施する地方創生活動に参加する機会を提供する「グローバルプログラム」を開始しました。今後も、帰国隊員が国際協力や日本国内の多文化共生・地方創生などの現場で、貴重な人材としてより一層活躍できるよう支援の拡充を進めています。



# 5万4,772人

JICA海外協力隊の派遣人数  
(1965-2021年度)

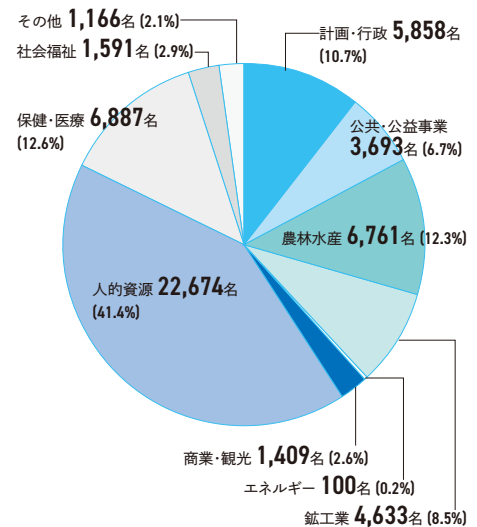
### ウィズコロナでの事業再開

新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響を受け、2020年3月から4月にJICA海外協力隊全員が一時帰国しましたが、派遣先の感染・医療状況などを見極めながら、2020年11月から派遣を再開。2022年3月31日までに40カ国446名の隊員を派遣しました。派遣された隊



ドミニカ共和国：子どもにバランスのよい食事について教える青年海外協力隊員(栄養士)

■ JICA海外協力隊の分野分類別派遣実績(累計)  
2022年3月末現在



関連情報

JICAウェブサイト — JICA海外協力隊